

コープみやざき
49年のあゆみ

宮崎市民生活協同組合 設立趣意書

くる年もくる年も、物価の値上がりに悩まされつづけて来た10年間、昨年から今年にかけて物価と公害が大きな社会問題、政治問題とさえなりました。

少しはよくなるかと思って迎えた今年でしたが、私たちの切なる願いをふみにじるような新年早々からの物価の値上げは豆腐、みそをはじめ、しょうゆ、牛乳、肉などの生活必需品、電話料、授業料、国鉄料金等の公共料金と、とどまることがなく、ただでさえ苦しい家計のやりくりにも追われる私たち主婦にとっては、いきどおりを通りこし、恐怖さえ感じます。

物価だけではなくありません。防腐剤、着色料をはじめとする有害な食品添加物や、リンゴで作ったイチゴジャム、椰子油の入った牛乳などひろいあげればきりがなほのウソつき商品、有害商品が横行しております。しかもラーメンに公然と添加物を強制するような消費者無視のJAS規格の改正など又一方ではABS(LAS)を使った洗剤などで大淀川は死の川寸前となり、私たちの住む環境は日増しに破壊されています。カネミ油や森永ミルクの二の舞、その悲劇が明日は我が身にふりかからぬという保証は何ひとつないのです。

元気であれ、大きくなれと願いをこめて作る、毎日の食事に体をむしばむ有害添加物がいっているということは、私たち母親、主婦にとって決して許すことはできません。

このいきどおりが、全国各地で消費者の組織として次々と生まれてきました。この主婦を中心とした組織の力が、カラーテレビの買い控え運動や石油タンパクの製造中止をさせるなど大きな成功をおさめました。

このような中で宮崎市内では最初数名の人々の、安くておいしい牛乳がほしい、という要求からはじまった牛乳の共同購入が次々と広がり、47年3月には110世帯が「消費者の会」に加入し、8月には“生協設立準備会”と発展しました。会員主婦の熱心な努力と宮崎大学生協の友好的な支援をうけて、牛乳をはじめ有害添加物はいっていない生協のコープマーク商品や、正月用の数の子、ハマチ、紅鮭や豚肉100%のハム類などの共同購入を積極的に行い、現在では平和ヶ丘団地で、44班270世帯、市内各地に15班、90世帯、計360世帯の結集へと大きく成長してきました。

この経験の中から、私たちは今までのような与えられ買わされる受身の消費者でなく、自分たちの体を動かし自分たちの手で安全無害な食品を作り出し安定した価格の商品が得られるようにと、主婦のひとりひとりが力をだしあい協力して私たちの暮らしを守る“とりで”としての「生協」をぜひつくりたいと考え、先輩生協の鹿児島市民生協の見学や牛乳工場の視察などして、ますますその希望と確信を深めました。

生活協同組合は消費者自身がお金(出資金)を出し合って、活動の基金とし消費者自身が運営し、利用するという自主的で民主的な組織です。私たちが(よりよいものをより安く)(ひとりがみんなのために、みんながひとりのために)というスローガンのもとに、目標をひとつにお互いが助け合うという精神で協力しあうならば、楽しい町をつくり平和で民主的な世の中を作りあげていくうえでも大きな意味をもつものだと思います。生活協同組合は全国で1,250組合・1,350万人の組合員が結集しています。九州で市民生協がないのは宮崎だけです。宮崎市民のみなさん、消費者のみなさん、ひとりひとりがバラバラでは無力です。今こそ私たちは消費者が手をつなぎ力を出しあって暮らしといのちを守るために、行動する消費者になろうではありませんか。

私たちは暮らしを守る消費者の“とりで”を私たち自身の力で作るために「宮崎市民生活協同組合」を設立することになり、昭和48年5月の創立総会を目指し、設立準備をすすめています。

みんなの暮らしを守るために1人の人が2人に呼びかけ、2人の人が4人の人に呼びかけて、その輪をひろげていきましょう。

みんなの力でこの宮崎に「市民生協」をつくらうではありませんか。

以上の趣旨にご賛同いただき「宮崎市民生協」に一人でも多くの方々がご加入くださいますよう、おさそいいたします。

昭和48年3月12日
宮崎市民生活協同組合
設立発起人会

市民生協が誕生

宮崎 より安くより安全に

県内初の市民生協と主婦たちの
関心を集めていた宮崎市民生活協
同組合（事務所宮崎市平和ヶ丘西
町）が二十九日、同市の県総合博
物館県民文化ホールで創立総会を
開き正式に発足した。

生協参加者は市内の東部、南
部、北部、中部の四地区で百十
二班、六百三十人に達し大会は成
立。

議案審議は定款・諸規約、五課
題、十五目標を示した事業計画な
ど八議案を満場一致で承認したあ
と①組合員と出資金をふやし生協
へ購買力を結集する②有害食品
・不良商品を排除し再販価格制度を
樹すための運動を強める、などの
決議案と①よりよい品をより安く
②一人がみんなのために、みんな
が一人のために、など五つのスロ
ーガンを会員の拍手で採択した。

なお役員選出で、同市平和ヶ丘
東町、山根弘子さんから十四人の理
事と監事二人を選任した。

宮崎市民生協設立
の大役を果たした
小川 洋子さん
(宮崎市平和ヶ丘西町)



宮崎市にも市民生協が誕生し
た。主婦たちの長い間のユメが

実ったわけだ
が、二十九日の
発会を特に待望
んでいたのは二
十六人の設立発
起人の主婦たち。その一人の小
川さんに聞いてみた。

— 総会を終えてどんな感想
ですか。

平聲のつもりだったんです

子供守りたかったの 皆の協力に感謝します

が、まだ何をいっていいかわか
りません。発言は個人的な苦勞
話になっちゃったんだけど良かった。そのたびに、私たちがして
いたことは大勢の主婦の人たち
の考えていることと離れてい
ったのかしら。だってこれまで

「待ちに待った生協ができたんです」と小川さん
(宮崎市の県民文化ホールで)

ですもの。(会場で総会設立ま
での経過報告をしたが内容を気
にする。この話は場内をしーん
とさせるほど感動子だった)

話合いならすぐ反応がわかる
けど、壇上ではよくわかりませ
ん。盛会だった
のかどうかも。






— これまで
に一番つらかつ
たことは








発起人を頼む時でした。お願
いには走り回っては断られまし
た。最後に「けさ出がけに主人が
がんばって来いよ」と声をか
けてくれました」とはにかみな
がらもうれしそうにいった。






昭和48年(1973年)5月30日
朝日新聞掲載

創立総会の様子 (県民文化ホールにて)

















1975 (昭和50)	1974 (昭和49)	1973 (昭和48)	年度
組合員数 2,256人 加入率(世帯) 0.7% 供給高 17,790万円 出資金 695万円	組合員数 1,621人 加入率(世帯) 0.5% 供給高 9,987万円 出資金 473万円	設立時の組合員数 690人 (以降は年度末の数値です。)	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・班活動費の支給が始まる。 ・班単位の箱詰め集品になり、商品代金回収も月1回から次回配達日回収に変更する。 ・事務所と倉庫を大塚町へ移転する。 ・運営委員会が地区ごとにできる(5地区36人)。 ・機関紙の名称を「にじのわ」に決定し毎月1回発行する。・うすくちしょうゆ、パン、肉、いりこ、ダイヤサイダー、高岡みかんが利用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎南部市民生協設立(9月8日)。 ・宮崎市内を5つの地区に分けて、地区担当制を実施する。 ・酪農とよい牛乳を守る運動を行ない2000人の署名が集まる。 ・一部地区で運営委員を選任。 ・組織部、商品テストグループ、編集委員会が誕生する。 ・灯油価格交渉によって宮崎市内で一缶600円となる。 ・取扱い商品が、食品35、雑貨33品目が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮崎市民生活協同組合」設立総会開催(5月29日)。 ・月3回の配達でコースごとに注文を集計し、月の下旬に食品、中旬に定共B、下旬に雑貨の配達を行なう。 ・事務所を平和が丘西町から北町へ移転する。 ・南部市民生協設立準備会の活動を支援する。 ・生協協議会設立。第一回生協大会を行う(宮崎市民生協・宮崎大学生協・学校生協・東児湯生協・西臼杵生協・日本パルプ生協)。 ・オイルショックの影響で、トイレットペーパー、しょうゆ、洗剤を分け合う。 	主 な 事 柄
日本初テレビゲーム『テレビテニス』発売 ベトナム戦争終結 灯油裁判始まる	各地で狂乱物価へ抗議行動 長嶋茂雄現役引退	オイルショック ウォーターゲート事件 全国消団連の物価値上げ反対国民集会。	社会情勢
 <p>大塚の事務所・倉庫</p>	 <p>街頭での宣伝</p>	 <p>トラックでの移動展示販売</p>	 <p>第1回市民生協「虹のつどい」</p>
 <p>トラック</p>			

1978 (昭和 53)	1977 (昭和 52)	1976 (昭和 51)	年度
組合員数 3,575 人 加入率(世帯) 1.1% 供給高 3.4 億円 出資金 1,656 万円	組合員数 3,123 人 加入率(世帯) 0.9% 供給高 3.2 億円 出資金 1,224 万円	組合員数 2,848 人 加入率(世帯) 0.9% 供給高 2.7 億円 出資金 1,008 万円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・班活動費還元対象商品が牛乳から全利用商品になる。 ・宮崎県生活協同組合連合会を結成する(宮崎市民生協、宮崎大学生協、学校生協、王子製紙生協、南部市民生協、西臼杵生協)。 ・一般消費税反対宮崎県連絡協議会を結成する。 ・全地区運営委員会議を年3回行なう。 ・核兵器完全禁止被爆者援護世界大会に初めて参加する。 ・卵、てんぷら、鶏肉の地元商品を取り扱う。 ・発泡スチロールの保冷箱を使用し始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市消費者団体連絡協議会へ加盟する。 ・全地区運営委員会議を年2回行なう。 ・都城設立運動を開始する。 ・納涼映画会を各地で行なう。 ・ウィンナー、かまぼこ、デザートベース、コープ基礎化粧品が利用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中は商品配達。午後は牛乳と食パン(1番館)の配達を行う。 ・コープみそ、九州生協大会において、利用結集で単品表彰される。 ・運営委員会を定例化する(5地区67人)。 ・北海道産朝もぎスイートコーン、東北産直りんご・なし、地元商品のポークロールが利用できるようになる。 	主 な 事 柄
国連軍縮特別総会が開催 生協規制反対請願運	ロッキード事件・丸紅ルー ト初公判	ロッキード事件 公共料金値上げ反対、くらしを守る全国生協統一行動	社 会 情 勢
 <p>シッパーの導入</p>	 <p>視察先にて</p>		 <p>班で商品を受け取る</p>
 <p>生協まつり</p>	 <p>運営委員会</p>	 <p>重点商品注文用紙</p>	










1981 (昭和56)	1980 (昭和55)	1979 (昭和54)	年度
組合員数 6,952人 加入率(世帯) 2.0% 供給高 10.3億円 出資金 4,311万円	組合員数 5,681人 加入率(世帯) 1.6% 供給高 7.4億円 出資金 3,168万円	組合員数 4,308人 加入率(世帯) 1.3% 供給高 5.4億円 出資金 2,190万円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・週単位の商品代金回収が始まる。 ・都城支所が移転する。 ・添加物学習会を行い200人が参加する。 ・県生協連主催の原爆展が開催され、3日間で2300人が参加する。 ・大隈産産直豚、コープ豚まん、あんまん、えびクリーム・コーンクリーム、かにクリームコロッケが利用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮崎県民生活協同組合」に名称を変更する。 ・宮崎市の東部支所、都城支所を開設する。 ・ミニ班長会を開催する。 ・環境汚染を防ぐ洗剤対策についての請願が宮崎市議会で採択される。 ・県の母親大会に初めて参加する。 ・ハンバーグ・シューマイ・ギョーザなどの冷凍品の取扱い品目が増え、コープメイク化粧品が利用できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・合成洗剤追放宮崎市民の会に参加する。 ・定款を宮崎市のみの活動から、宮崎県全域へ活動できるように変更。 ・都城生協設立準備会が500人を突破する。 ・洗剤問題で著名運動を行ない県・市へ請願を提出する。 ・電気料金値上げ反対運動。 ・第1回宮崎県消費者大会を開催し230人が参加する。 ・夏休みに宮日母子福祉会館で「戦争と平和展」を行なう。 ・アイスクリーム、玉うどん、プリン、冷凍食品が利用可能になる。 ・無リンの複合石けん「コープクリーン」ができる 	主な事柄
スペースシャトル第一号コロンビア打ち上げ成功	日本が自動車生産台数世界一になる	 <p>一般消費税法案が反対署名の取り組みなどで廃案に追い込まれる</p> <p>活動が県内全域に</p>	社会情勢
 <p>無漂白・無着色小麦の案内粉</p>	 <p>化粧品学習会</p>	 <p>班配達風景</p>	 <p>合成洗剤追放運動</p>

1984 (昭和59)	1983 (昭和58)	1982 (昭和57)	年度
<p>組合員数 22,179人 加入率(世帯) 5.9% 供給高 41.8億円 出資金 1.6億円</p>	<p>組合員数 14,337人 加入率(世帯) 3.9% 供給高 23.2億円 出資金 7,675万円</p>	<p>組合員数 9,023人 加入率(世帯) 2.5% 供給高 13.7億円 出資金 5,412万円</p>	<p>関係数値</p>
<p>・村角町に商品センターが完成。本部がセンターへ移転。 ・宮崎南部市民生協と合併。高鍋町へ仲間の輪が広がる。 ・商品の開発や改善、くらしを守る運動が、みんなの声をもたに行なわれるよう組合員組織の運営の仕組みを変更。 ・市議会、県議会へ食品添加物の規制強化を求める請願を提出し県議会で採択される。 ・日本フィルを招き、「親子コンサート」を初めて取り組む。 ・はじめてのサークル「コールドインポー」ができる。 ・パン開発委員会で食パンやロールパンを開発。また、ケーキ開発委員会でもロールカステラ、プチマドレーヌを開発する。 ・うすあげ、ゆでうどん、焼きそば、綾町のジャガイモが利用できるようになる。</p>	<p>・OCRが導入され、回覧注文から個人ごとの注文になる。 ・商品代金が週単位の銀行口座引き落としになる。 ・生協大会で優良生協として表彰される。 ・食品添加物の規制を考える県民シンポジウムを開催する。 ・とうふ開発委員会で、宮崎県民生協商品第一号となる「コープもめんとうふ」ができる。</p>	<p>・牛乳配達を午後配達から専任職員による早朝配達に変更。 ・定曜日・定時の配達になる。 ・延岡支所を開設、宮崎市内の支所を一本化する。 ・第2回国連軍縮特別総会に代表が参加する。 ・正月用品を宮崎、鹿児島、沖縄、長崎の4生協統一カタログで企画する。 ・コープハム・ソーセージ、ヨーグルト、米が利用できるようになる。</p>	<p>主 な 事 柄</p>
 <p>当時の常勤役員</p>	 <p>山根弘子 理事長</p>	<p>生協規制の動き活発化 辛子レンコンによる食中毒 事件発生</p>	<p>社会情勢</p>
 <p>日フィル親子コンサート</p>  <p>日フィル実行委員会</p>	 <p>商品センター</p>  <p>とうふ開発委員会</p>	 <p>コープもめん豆腐</p>	 <p>配達日を知らせる「のぼり」 (組合員さんの手作り)</p>











1987 (昭和62)	1986 (昭和61)	1985 (昭和60)	年度
組合員数 50,800人 加入率(世帯) 13.3% 供給高 97億円 出資金 5.4億円	組合員数 42,885人 加入率(世帯) 11.3% 供給高 83億円 出資金 4.2億円	組合員数 34,149人 加入率(世帯) 9.1% 供給高 63億円 出資金 2.9億円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・6生協(宮崎・鹿児島・長崎・佐賀・大分・沖縄)の統一カタログになる。 ・共済が始まる。 ・店舗設立の準備を開始する。 ・本部を恒久に移転する。宮崎北、東支所を開設する。 ・「やめんね大型間接税。みはっちよくとよ女の集会」を開く。 ・五ヶ瀬ふれあいキャンプ、ミュージカル「安寿と厨子王」、「梅原司平平和コンサート」を開催する。 ・コープカレーパン、チョコレートパン、クロワッサン、液体ニュークリーンが利用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通死亡事故を起こし、二度と事故を起こさないために安全の取り組みを強める。 ・申し込みカードに商品名が印刷されるようになる。 ・納品請求書が個人別に発行されるようになる。 ・生協規制反対・売上税反対運動に取り組み、宮日新聞に2197名の意見広告を掲載。 ・機関紙「にじのわ」が毎月から毎週発行になる。 ・前進座公演「出雲の阿国」を宮崎、延岡で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・延岡支所が移転する。高鍋、小林、宮崎西、宮崎南の4支所を開設。 ・長期計画「2000年を目指して」決定。 ・ユニセフ募金を春と秋の2回行い、合計516万円を超える募金が集まる。 ・宮崎良いものとして、地元のめひかり、ゆずみそ、日向夏ようかんなどを取扱うようになる。 	主な事柄
 <p>宮崎東支所職員</p>	<p>売上税法案が廃案 国鉄がJRになる 携帯電話登場</p>	<p>日航ジャンボ機墜落 スペースシャトル爆発事故 日本電信電話公社、日本専売公社が民営化</p>	社会情勢
 <p>柳丸設立メンバー</p>	 <p>たすけあいチラシ</p>	 <p>機関誌にじのわ</p>	 <p>生協のチラシ</p>
 <p>恒久の本部</p>			 <p>宮崎支所職員</p>
 <p>延岡支所職員</p>	 <p>宮崎西支所職員</p>		








1990 (平成2)	1989 (昭和64・平成1)	1988 (昭和63)	年度
組合員数 80,206人 加入率(世帯) 20.0% 供給高 147億円 出資金 10.1億円	組合員数 69,996人 加入率(世帯) 17.9% 供給高 122億円 出資金 7.9億円	組合員数 61,618人 加入率(世帯) 15.9% 供給高 99億円 出資金 6.5億円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> 五ヶ瀬町、五ヶ瀬町農協、県民生協の共同出資で、宿泊研修施設、五ヶ瀬「ふれあいの里」が完成する。 商品代金の口座引き落とし登録率が75%を超える。 ユニセフチャリティーコンサート「アゲネス・チャンおしゃべりコンサート」を開催し1200人が参加する。 味付小魚、子供おやつソーセイジ、肉ギョーザファミリータイプが利用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 週2回配達の仕事みを中止する。 前年度赤字のため、初めて出資配当ができません。 くらしの工夫を集めた「くらしの工夫集」を作成する。 「杜子春」公演、「日フィルミニコンサート」を開催する。 台風11号被害募金に取り組み。 アレルギー除去食品を開発。 	<ul style="list-style-type: none"> 週2回配達開始。1500品目の品揃えで個人別集品を行なう。 組合員証がコープカード(磁気カード)になる。 柳丸店(1号店)オープン。 赤字決算となる。 第一回沖縄戦跡めぐり参加。 15周年企画でミニバレー大会、日フィル生協親子コンサート開催。 消費税反対署名(4万8千筆)、廃止署名(5万2千筆)に取り組み。 米の免許を取得する。 みやざきコープの七ツ山風味漬、カツオ茶漬けを開発。 ミニカルパス、デニッシュパン、ちゃんぽん、また産直五ヶ瀬米、高岡文巨など県内産直の取扱いが広がる。 	主な事柄
統一ドイツ誕生 バブル経済崩壊 イラクがクウェートに侵攻	昭和から平成へ 消費税3%実施	 15周年式典 リクルート疑惑 東京ドーム完成 青函トンネル開通 カラオケボックス人気	社会情勢
 ふれあいの里	 ミニバレー大会	 柳丸店オープン	 週2回配達チラシ
 五ヶ瀬ふれあいキャンプ	 配達風景	 柳丸店オープン	 コープカード

1993 (平成5)	1992 (平成4)	1991 (平成3)	年度	
組合員数 115,239人 加入率(世帯) 27.8% 供給高 198億円 出資金 22億円	組合員数 106,914人 加入率(世帯) 26.6% 供給高 181億円 出資金 17.6億円	組合員数 95,719人 加入率(世帯) 24.1% 供給高 175億円 出資金 13.7億円	関係数値	
<ul style="list-style-type: none"> ・設立20周年を迎え「20周年のあゆみ」を発行する。 ・田中哲史副理事長が厚生大臣賞を受賞する。 ・共済の「シルバークース」の開発を行なう。 ・20周年企画として抽選企画、コープフェスタ、記念セール、文化講演会、20周年を祝う組合員のつどいを実施する。 ・丸い冷凍うどん、秋鮭シヤンポパックの少量目、野菜ミックス紙パック、減塩みそ、タしなし納豆などを開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員が10万世帯を超え、県民4世帯に1世帯が組合員となる。 ・商品検査センターを設置。 ・九州各県8つの生協でコープ九州を結成。 ・「ノンちゃんBook」作成。 ・大気汚染や河川の水質、酸性雨などの環境測定を行い、1500人が参加する。 ・県経済連と一緒に前進座「怒る富士」に取り組む。 ・野菜ミックス、糸コン20、冷凍ごぼう、揚げパン、厚あげ、山菜いなりあげ、羊毛敷布団など、みやざきコープ商品を開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎の9つの協同組合で宮崎県協同組合連絡協議会を結成する。 ・都城に都北店(2号店)オープン。 ・県民生協オリジナル共済が利用できるようになる。 ・旅行事業が始まり、航空券、宿泊手配など利用できるようになる。 ・たすけあい共済契約者が2万人を超える。 ・湾岸戦争の即時終結を求める署名で2万筆が集まる。 ・古紙利用の卵パック「モールドパック」を採用する。 ・安くて良品質の羽毛布団の開発や県産豚「ひむかトンちゃん」、筑前野菜水煮、小林の梨、冷凍ほつれん草、冷凍さといもなどを県内産を使用して開発する。 	主 な 事 柄	
戦後最悪の米の不作 北海道南西沖地震や台風13号による大災害発生	国際連合平和維持活動協力法(PKO法)成立 東京大会開催 国際協同組合同盟(ICA)	雲仙普賢岳火砕流災害発生 ソ連解体 ペルシャ湾に海上自衛隊派遣 湾岸戦争終結	社 会 情 勢	
 <p>故・田中哲史副理事長</p>	 <p>20周年のあゆみ「そして未来」</p>	 <p>商品検査センター</p>	 <p>旅行センター</p>	 <p>都北店オープン</p>
 <p>前進座の怒る富士</p>	 <p>卵のモールドパック</p>	 <p>都北のマクドナルド</p>		

1996 (平成8)	1995 (平成7)	1994 (平成6)	年度
組合員数 148,400人 加入率(世帯) 34.5% 供給高 228億円 出資金 32.8億円	組合員数 136,790人 加入率(世帯) 31.8% 供給高 210億円 出資金 29.5億円	組合員数 129,555人 加入率(世帯) 30.0% 供給高 203億円 出資金 26億円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・大塚店(4号店)、日知屋店(5号店)オープン。 ・「パート職員の仕事の関わりについての整理と挑戦」の考え方を整理。 ・住宅センターを新設する。 ・地震災害等の保障制度への署名運動を行い2万5千筆が集まる。 ・お試し&少量目企画の取扱いを増やす。 ・店でも生鮮品を中心に、欲しい量目や加工を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都北店リニューアル。 ・プラスサービス(提携保険代理店)がスタートする。 ・共同購入の「Vieeカタログ」くらしと生協「ムトウ」の商品が店で注文できるようになる。 ・戦後50周年の節目で前進座の「今日われ生きてあり」公演を開催。 ・おせちの少人数用を開発する。 ・トレー削減のため、豚ロースみそつき、豚ジャンボパックなどのトレーをなくす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐土原店(3号店)オープン。 ・五ヶ瀬町・高千穂町・南郷村・西郷村・西米良村に直接配達ができるようになる。 ・阪神淡路大震災被災者救護募金に取り組み、1600万円を被災地に届ける。 ・理事会で「消費税の税率引き上げに反対する」特別声明を出す。 ・バラ凍結や袋詰め商品の増加でトレーを削減。 ・サブファイリーの枚数変更、みろくやの皿うどん、マーボー豆腐などの生協の安全基準を満たしたNB商品の取扱いを増やす。 	主な事柄
住専処理法成立。 開始 遺伝子組み換え食品の輸入 ○・157の食中毒発生	フランス、中国が核実験を行なう 輸入血液製剤による犯罪が大きな社会不安となる	 佐土原店オープン初の衣料部門 1995年1月17日阪神淡路大震災発生 製造物責任法制定	社会情勢
 日知屋店と準備室職員 	 大塚店と準備室職員 	 衣料部門職員  サービスカウンター  上棟式 	








1999 (平成 11)	1998 (平成 10)	1997 (平成 9)	年度	
組合員数 180,868人 加入率(世帯) 40.4% 供給高 257億円 出資金 38.0億円	組合員数 170,670人 加入率(世帯) 38.6% 供給高 259億円 出資金 35.9億円	組合員数 162,267人 加入率(世帯) 37.3% 供給高 243億円 出資金 33.9億円	関係数値	
<ul style="list-style-type: none"> ・水戸撰品のトリーの賞味期限と製造日印字の改善する。 ・蒸しどりのスライス、みやざきコープほほえみ、きざみあげを開発。 ・届けるよう変更する。 ・機関紙「ハロー！コープ」を前月お店を利用された組合員さんにお届けする。 ・「地域受取場所」「時間外電話注文センター」「コープBOOKセンター」がスタートする。 ・浜町店(8号店)オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・「誕生日おめでとう企画」を実施する。 ・共同購入と店舗の商品品揃えや情報の交流、連携が進む。 ・みやざきコープの「とつふ」などの一部に、成分表示にない添加物が入っていることが発覚。製造メーカーとの取引を中止する。 ・「誕生日おめでとう企画」を実施する。 ・山根理事長が厚生大臣賞を受賞する。 ・25周年企画として三遊亭歌之介、灰谷健次郎氏講演会、前進座「たいこどんどん」公演、生協まつり&大フリーマーケット、抽選企画、 ・小林店(7号店)オープン。 ・一人でも共同購入できる「個人受取場所」がスタート。 ・設立25周年を迎え「25周年のあゆみ」を発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤江店(6号店)オープン。・柳丸店リニューアル。 ・パート職員配達の配達が始まる。 ・「職員の裁量権の拡大について」考え方を整理する。 ・「遺伝子組み換え食品の表示と情報公開を求める」特別決議を行う。 ・冷凍さがきごぼう、食パン1.5斤、ひとロチキン南蛮、味付け筑前煮、冷凍さめきうどんを開発する。 ・要望に早く応えるため、みやざき版カタログのページ数を増やす。 	主 な 事 柄	
茨城県東海村の核燃料加工会社「ジェー・シー・オー」(JCO)「東海事業所で国内初の臨界事故が発生	津久見生協が倒産	消費税5%実施 地球温暖化防止会議が京都で開催 日本がサッカーワールドカップ初出場	社 会 情 勢	
 <p>ハロー！コープ</p>	 <p>浜町店オープン</p>	 <p>小林店オープン</p>	 <p>宮崎版カタログ</p>	 <p>赤江店オープン</p>
 <p>水戸撰品(納豆)</p>	 <p>地域受取場所</p>	 <p>大フリーマーケット</p>	 <p>個人受取場所</p>	 <p>セレモニー</p>

2002 (平成 14)	2001 (平成 13)	2000 (平成 12)	年度	
組合員数 194,603 人 加入率 (世帯) 43.3% 供給高 263 億円 出資金 42.9 億円	組合員数 189,316 人 加入率 (世帯) 42.0% 供給高 255 億円 出資金 44.1 億円	組合員数 185,201 人 加入率 (世帯) 41.6% 供給高 254 億円 出資金 40.9 億円	関係数値	
<ul style="list-style-type: none"> ・「生活協同組合コープみやざき」に正式名称を変更する。 ・注文用紙が両面印刷になり、商品名打出しが390品目から600品目に加え、価格表示もできるようになる。 ・「食品安全基本法」、改正「食品衛生法」成立。「食品衛生法」については、生協からの国会請願の多くの事項が取り入れられる。 ・冷凍ちゃんぽんめん細の細めんタイプを開発する。 ・二人世帯のくらし」を基本に食品の量目見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「組合員の声カード」(現：わが家の声カード)をすべての組合員に配布開始。 ・「にっこにこ便」「くらしの交流会補助制度」、ホームページがスタート。 ・日本生協連より優秀賞の表彰を受ける。 ・「灰谷健次郎講演会」、「いきいき健康ウォーク」を開催する。 ・「食品衛生法の改正と充実強化を求める請願署名」に取り組む。 ・みやざきコープ五ヶ瀬・高千穂米(無洗米)・みやざきコープ骨なしそば竜田揚げ・みやざきコープ食パン5枚などを開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「戸別配達」がスタート。 ・生活サービスの「宅配寝具テレフォンサービス」「フラワーサービス」「CD/DVDオセンター」、店舗の「商品券」の利用がスタートする。 ・前進座「赤ひげ」を医療生協と共同で取り組む。 ・日本生協連の「食品衛生法の改正と充実強化を求める請願署名」に取り組み、3万4千筆集まる。 ・もやし、みやざきコープポン酢しょう油ゆずのかほり、みやざきコープ南の果実園などを開発する。 	主 な 事 柄	
狂牛病対策の国産牛肉買い上げ制度を悪用した偽装申請事件が続発 小柴昌俊さん(物理学賞)、田中耕一さん(化学賞)の2人がノーベル賞を受賞	食肉の偽装が次々に発覚 国内で初めてBSE(狂牛病)発生	アメリカ同時多発テロ発生 家で畜伝染病「口蹄疫」が国内で92年ぶりに発生	社 会 情 勢	
 <p>冷凍ちゃんぽん細麺</p>	 <p>生活協同組合コープみやざき</p>	 <p>灰谷健次郎氏</p>  <p>にっこにこ便チラシ</p>	 <p>ゆずのかほり</p>	 <p>戸別配達</p>
	 <p>健康ウォーク・綾</p>	 <p>くらしの交流会</p>	 <p>フラワー宅配</p>	 <p>コープ商品券</p>

2005 (平成 17)	2004 (平成 16)	2003 (平成 15)	年度
組合員数 207,729 人 加入率(世帯) 44.9% 供給高 246 億円 出資金 43.3 億円	組合員数 201,145 人 加入率(世帯) 43.9% 供給高 246 億円 出資金 42.7 億円	組合員数 198,242 人 加入率(世帯) 46.3% 供給高 254 億円 出資金 40.3 億円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・花線店(10号店)オープン。 ・災害時における物資の供給に関する協定書を宮崎市と結ぶ。 ・メンテナンス事業部を発足する。 ・組合員が自ら活動する新しいスタイルの運営委員会がスタート。 ・共同購入の「にこにこ便」で冷蔵商品の取り扱いが出来るようになり、また家族のメッセージも同封できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柳丸店、日知屋店をリニューアル。 ・情報システム部門を(株)CMSとして別会社で設立する。 ・「生協なんでも相談・取次所」開始。登録数は3000ヶ所を越える。 ・クリスマスケーキ配達再開。 ・商品部、お取引先、店舗が協力して行なった、運動会弁当の当日キャンセルの対応が喜ばれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かおる坂店(9号店)オープン。 ・11番目の支所、「高千穂支所」を開設する。 ・共同購入のインターネット注文がスタートする。 ・設立30周年を迎え、三遊亭歌之介氏や中坊公平氏講演会、大フリーマーケット、山根会長とお茶する会、抽選企画などの記念企画を実施する。 ・「生しほりもめん(2分割)」を開発。使い勝手が良いとお気に入りへの声が寄せられる。 ・より買いやすい価格の無洗米として「いいことざん米」を開発する。 	主な事柄
JR宝塚線で脱線事故発生。列車事故としては国内最大	インドネシア・スマトラ沖地震で大津波発生。インド洋沿岸諸国で29万人が死亡・行方不明 「年金改革法案」可決施行	鳥インフルエンザが広範囲に発生 中国を中心に新型肺炎(SARS)が発生	社会情勢
 <p>花線店</p>	 <p>株式会社 CMS</p>	 <p>生しほりもめん 2分割</p>	 <p>かおる坂店</p>
 <p>メンテナンス事業部職員</p>		 <p>いいことざん米</p>	 <p>高千穂支所</p>

2008 (平成 20)	2007 (平成 19)	2006 (平成 18)	年度	
組合員数 223,540 人 加入率 (世帯) 47.7% 供給高 272 億円 出資金 44.7 億円	組合員数 219,595 人 加入率 (世帯) 47.3% 供給高 275 億円 出資金 44.3 億円	組合員数 213,610 人 加入率 (世帯) 46.7% 供給高 265 億円 出資金 44.1 億円	関係数値	
<ul style="list-style-type: none"> ・不正転売の汚染米が大量に流通。 ・「運営委員会」を「コープ委員会」に名称を変更する。 ・「抹茶入り玄米茶」「国産小粒納豆・水戸撰品」「冷凍ちゃんぽん」「薫の詩ワインナー」などみやざきコープ商品の改善がすすむ。 ・厚生大臣より健全な事業経営に対して厚生労働大臣より表彰される。 ・佐土原店リニューアル。 ・設立35周年企画、鍵山秀三郎講演会、三遊亭歌之介講演会、フリマ、抽選企画、雑感集、かんたん料理集、「30年間加入ありがとう」企画を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「消費生活協同組合法案」が59年ぶりの大幅改正。 ・天洋食品の餃子農薬混入事件が発生し組合員に不安が広がる。 ・カタログでのアレルギー表示を開始する。 ・自己開示が進み、組合員さんと生協、職員間のコミュニケーションが深まる。 ・組合員数が22万人を超え、県内の世帯数に占める加入率が47%になる。 ・高鍋店(12号店)オープン。花ヶ島店は2年目で黒字化、店舗事業全体でも黒字を達成する。 ・自己開示が進み、組合員さんと生協、職員間のコミュニケーションが深まる。 ・組合員数が22万人を超え、県内の世帯数に占める加入率が47%になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花ヶ島店(11号店)オープン。職員の自己開示表現による新しい店舗スタイルが共感を呼び。 ・共同購入で「商品注文登録制度」がスタートする。 ・「よろずサービス」への要望が増え、登録者も170人になる。 ・前進座「佐倉義民伝」の公演開催。 ・低価格のもめん豆腐としてみやざきコープ「もめんとうふ」を開発。 ・運動会弁当配達県内66の小中学校に広がる。 	主 な 事 柄	
アメリカ大統領選でオバマ氏が大統領に選出	有名店で相次ぐ食品の偽装問題発覚。食の安全と信頼が大きく揺らぐ	インドネシア・ジャワ島でM6.3の地震が発生。6千人が死亡 宮崎県知事選で東国原英夫(元タレント)のそのまんま(東)氏が当選	社会情勢	
 <p>かんたん料理集 4</p>			 <p>佐倉義民伝</p>	 <p>花ヶ島店</p>
 <p>雑感集 2</p>	 <p>鍵山秀三郎氏</p>	 <p>高鍋店</p>		 <p>自己開示POP</p>

2011 (平成23)	2010 (平成22)	2009 (平成21)	年度
組合員数 237,267人 加入率(世帯) 50.5% 供給高 275億円 出資金 46.0億円	組合員数 233,897人 加入率(世帯) 50.3% 供給高 264億円 出資金 45.9億円	組合員数 227,360人 加入率(世帯) 48.2% 供給高 264億円 出資金 45.3億円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・「パンちゃん20」が3年ぶりに復活する。 ・専門店「宮崎辛麺」開発する。 ・要望が多かった終身共済をスタートする。 ・演を開催する。 ・国際協同組合年の企画として松岡公明氏講演会、前進座の歌舞伎公演を開催する。 ・東日本大震災支援募金が2500万円になる。 ・共同購入は供給高で2年連続、利用者で6年連続、前年を超える実績となる。 ・日南店(14号店)オープン、都北店リニューアル。 ・共同購入は供給高で2年連続、利用者で6年連続、前年を超える実績となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「和風ドレッシング 菜美」を開発する。 ・「大腸がん検診」(便潜血検査) キットの取り扱いを開始する。 ・調味料「マキシマム」が話題になる。 ・宮崎県生活協同組合連合会主催で大野勝彦氏講演会「夢は叶う、思い強ければ」を開催する。 ・円となる。 ・口蹄疫の復興支援募金(組合員募金・組織募金)が総額2200万円となる。 ・注文用紙で過去1年で利用した商品に網掛けをするようになる。 ・小林店リニューアル。 ・61年の長い歴史を持つ、日南の王子製紙生協と10月に合併する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本郷店(13号店)オープン。 ・赤江店、柳丸店に直営ベーカーリーオープン。 ・旅行センターでは「格安航空券情報」のメール配信をスタートする。 ・戸別配達サービス料の減額開始年齢を70歳から65歳に変更する。 ・共同購入で大型冷蔵保冷箱(2パック)を導入し、夏場のアイスの解凍などのクリームが減少し、冷凍商品を安心して利用できるようになる。 	主 な 事 柄
政府は環太平洋連携協定(TPP)交渉参加を表明	2011年3月11日、東日本大震災発生。三陸沖でM9.0の地震と大津波が発生。死者、行方不明は2万人になり、福島原子力発電所では放射能漏れが発生	カナダのバンクーバーで冬季オリンピック開催	社 会 情 勢
 <p>日南店</p>	 <p>口蹄疫の募金</p>	 <p>王子製紙生協と合併</p>	 <p>本郷店</p>
 <p>宮崎辛麺</p>	 <p>パンちゃん</p>	 <p>マキシマム</p>	 <p>冷凍用のZパック</p>
 <p>赤江店ベーカーリー</p>			

2014 (平成 26)	2013 (平成 25)	2012 (平成 24)	年度
組合員数 245,684 人 加入率(世帯) 51.6% 供給高 287 億円 出資金 46.8 億円	組合員数 242,743 人 加入率(世帯) 51.2% 供給高 281 億円 出資金 46.2 億円	組合員数 240,142 人 加入率(世帯) 47.7% 供給高 274 億円 出資金 46.0 億円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・大塚店(5月)、かおる坂店(3月)リニューアル。 ・元日本生協連会長「竹本成徳氏講演会」最後の「トマト」を開催する。 ・「原発いらない!宮崎連絡会」の署名活動にコープみやざきでも取り組み、全体で1万4600筆の署名が集まる。 ・ユニセフの「エボラ出血熱緊急募金」(西アフリカ)に取り組み。 ・より美味しさ商品を目指して焼き餃子(肉とにんにく)をリニューアルし、焼き餃子(野菜たっぷり)を新たに商品化する。 ・バターの香りと塩味が絶妙な「塩バターパン」を商品化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設立40周年を迎え、「商品開発・改善物語集」「役職員へありがとう記念品」「かんだん料理集5」「乙武洋匡講演会」「車でフリーマーケット」「お父さんたちのゴルフコンペ」などの企画を行う。 ・日南ブロック総会で提案された傘寿(80歳)おめでとう企画がスタートし、多くの組合員さんから感謝の声が寄せられる。 ・「未来みやざき子育て応援フェスティバル2013」で、子育てしやすい環境作りの取り組みに対して表彰される。 ・「だしを効かせた味わいおでん」は具材の風味を大切にしたい1人前のおでんとして開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できてる人や部門、事業所に徹底的に学ぶ」が前進する。 ・日向市の日知屋店が財光寺店として新築移転オープン。 ・国際協同組合年記念企画、中桐万里子氏講演会を開催。 ・CO・OPアクション「へらし応援募金」が約400万円になる。 ・「焼きそば液体ソース付」が要望により新たなメーカーで復活する。 ・惣菜のポテトサラダを、よりおいしい商品へと改善する。 	主 な 事 柄
テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝	消費税率2014年4月より8%に引き上げ決定 9月、国内の原発が全て停止する 富士山が世界遺産に登録。 ロシアのソチで冬季オリンピック開催	全国和牛能力共進会で宮崎牛が史上初の2年連続日本一になる 京都大学の山中伸弥教授らがIPS細胞でノーベル賞を受賞	社会情勢
 大塚店・かおる坂店 リニューアル	 傘寿おめでとう企画  塩バターパン	 抽選企画 理事会で当選番号決定  味わいおでん決定  車でフリーマーケット	 財光寺店 

2017 (平成 29)	2016 (平成 28)	2015 (平成 27)	年度
組合員数 251,169 人 加入率(世帯) 53.2% 供給高 300 億円 出資金 48.7 億円	組合員数 249,241 人 加入率(世帯) 53.6% 供給高 301 億円 出資金 49.0 億円	組合員数 247,690 人 加入率(世帯) 52.9% 供給高 297 億円 出資金 47.8 億円	関係数値
<ul style="list-style-type: none"> ・「善の循環」が広がり、組合員さんの喜びの声や感謝の声が増え、お取引先からの感謝の返信も増える。 ・宮崎県生協連主催「現代の平和を考える講演会」が行われ、安田郁子さん「モスグリーンの青春」、南嘉久さん「心の被爆者として生きてきて 今伝えたいこと」の講演会に参加した。 ・うまいっ茶の飲みきり小量タイプ280mlを商品化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやびぎコープ」の米の袋をすべてチャックシール付の袋にする。 ・宮崎県生協連主催の平和の集いにおいて、元日生協常務理事 齋藤嘉璋氏の「生協の歴史から戦争と平和について学ぶ」講演が行われる。 ・「みやびぎコープ」の米の袋をすべてチャックシール付の袋にする。 ・宮脇店(15号店)オープン。「リッスン・ドウ・シー」の取組みが全店に広がり、役立ち喜ばれる工夫がさらに進む。 ・「善の循環」が広がり、組合員さんの喜びの声や感謝の声が増え、お取引先からの感謝の返信も増える。 ・宮崎県生協連主催「現代の平和を考える講演会」が行われ、安田郁子さん「モスグリーンの青春」、南嘉久さん「心の被爆者として生きてきて 今伝えたいこと」の講演会に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花ヶ島店が2016年6月、高鍋店が2017年3月にリニューアル。高鍋店にベーカリー部門がオープン。 ・コープみやびぎ設立50年(2023年)に向けて「こういう生協でありたい」が総代会で確認される。 ・前進座「怒る富士」の公演を宮崎市メディキット県民文化ホールで昼夜2回、宮崎医療生協と一緒に取り組む。 ・宮崎県生協連主催の平和の集いにおいて、元日生協常務理事 齋藤嘉璋氏の「生協の歴史から戦争と平和について学ぶ」講演が行われる。 ・「みやびぎコープ」の米の袋をすべてチャックシール付の袋にする。 ・宮脇店(15号店)オープン。「リッスン・ドウ・シー」の取組みが全店に広がり、役立ち喜ばれる工夫がさらに進む。 ・「善の循環」が広がり、組合員さんの喜びの声や感謝の声が増え、お取引先からの感謝の返信も増える。 ・宮崎県生協連主催「現代の平和を考える講演会」が行われ、安田郁子さん「モスグリーンの青春」、南嘉久さん「心の被爆者として生きてきて 今伝えたいこと」の講演会に参加した。 ・うまいっ茶の飲みきり小量タイプ280mlを商品化する。 	主な事柄
平昌オリンピック・パラリンピックで日本人選手が活躍	熊本県を中心にM7の大地震発生	「安全保障関連法」可決成立 環太平洋連携協定(TPP)交渉大筋合意 「高千穂郷・椎葉山地域」が世界農業遺産に認定	社会情勢
 <p>宮脇店オープン</p>	 <p>花ヶ島店 迫田和子店長</p>	 <p>腰塚勇人氏</p>	 <p>大塚店ベーカリー</p>
 <p>平和の講演会</p>	 <p>高鍋店</p>	 <p>前進座怒る富士</p>	 <p>戦争遺跡めぐり</p>
		 <p>組合員さんと写真</p>	

2019 (平成31・令和元年)	2018 (平成30)	年度		
<p>組合員数 255,654 人 加入率(世帯) 53.7% 供給高 303 億円 出資金 48.5 億円</p>	<p>組合員数 253,450 人 加入率(世帯) 53.5% 供給高 299 億円 出資金 48.6 億円</p>	<p>関係数値</p>		
<p>・ 2018年度の「コープみやざき設立45周年企画」の「抽選企画」の抽選を理事会で行いました。2018年度の「コープみやざき」利用金額総額の5万円に1個の「抽選番号」を発行して抽選を行い、1等〜4等、計3700本の当たりを、当選者にお知らせしました。</p> <p>・ 佐土原店はオープン25年目となり、4月27日にリニューアルオープン。床の貼り替えや屋根付き駐車場の増設、くつろぎコーナーも広くし、店内をゆったりとした買い物しやすい空間にしました。</p> <p>・ 0歳〜1歳未満のお子さんがいらっしゃる組合員さんへの、戸別配達サービス料減額「赤ちゃん戸配サービス」が実現しました。(減額後)お1人戸配:毎週100円 お2人戸配:毎週50円</p> <p>・ 延岡支所は、川原崎町から「岡富・古川地区区画整理地内」(岡富町)に新築移転しました。新築にあたり、冷凍蓄冷剤の施設も新設して試験運用を行い、品温管理向上が確認できました。</p> <p>・ 鮮魚の仕入れ強化のため、県南と県北の漁港から週2回の仕入を開始しました。</p>		<p>主 な 事 柄</p> <p>・ 設立45周年を迎え「齋藤孝氏講演会」「お父さんの料理教室」「雑感集3」「45周年おめでとうメッセージ」などの企画を実施。</p> <p>・ コープみやざき1号店の柳丸店が30周年を迎える。</p> <p>・ 人を大切にする経営学会主催「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞で最高賞の「経済産業大臣賞」を受賞。</p> <p>・ 宮脇店が「宮崎市誰もが住みやすいまちづくり賞」を受賞。</p> <p>・ 宮崎県生協連主催で、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長 吉原毅氏の「原発即時ゼロで日本経済は大発展する」講演が行われる。</p> <p>・ 店舗で支持の高いカツ丼を家庭で手軽に食べられるように「カツ丼の具」を1食で商品化。</p> <p>・ 「ただの炭酸水」は「500mlでは飲み切れず炭酸が抜ける」の声から280mlの「飲みきり炭酸水」を商品化する。</p>		
<p>4月30日をもって平成の天皇陛下が退位し、5月1日に令和の天皇陛下が即位されました。</p> <p>ラグビーW杯日本大会で日本チームが活躍「ONETEAM」の言葉が流行しました。</p> <p>消費税10%が実施され、8%軽減税率・クレジット決済によるポイント還元制度も始まりました。</p> <p>旭化成名誉フェローの吉野彰氏が、ノーベル賞の化学賞を受賞しました。</p> <p>中国武漢を発生地に「新型コロナウイルス」が広がりマスクなどが不足しました。</p>		<p>社 会 情 勢</p> <p>えびの市で長江川が硫黄山噴火の影響で白濁し稲作に影響が出る</p> <p>テニスの大坂なおみ選手が全豪テニス大会に優勝し、世界ランク1位となる。</p> <p>2019年10月の消費税10%に向け複数税率の内容や景気対策など提案される。</p> <p>2018年ノーベル賞医学学生理学賞を本庶佑(ほんじよたすく)京都大学特別教授が受賞。</p>		
 <p>延岡支所移転</p>	 <p>佐土原店</p>	 <p>「抽選企画」の抽選</p>	 <p>柳丸店30周年</p>	 <p>45周年の店舗パネル</p>
 <p>ラグビーW杯日本ベスト8</p>	 <p>令和の天皇即位</p>	 <p>「日本でいちばん大切にしたい会社」最高賞「経済産業大臣賞」受賞</p>	 <p>雑感集3</p>	

2021 (令和3)	2020 (令和2)	年度		
組合員数 264,478 人 加入率(世帯) 55.6% 供給高 330 億円 出資金 49.8 億円	組合員数 259,681 人 加入率(世帯) 54.5% 供給高 336 億円 出資金 49.1 億円	関係数値		
<ul style="list-style-type: none"> ・6月26日(土)に本郷店、11月27日(土)に小林店がリニューアルオープンしました。 ・日南支所は9月27日(月)日南市益安地区<small>ますやす</small>に新築移転しました。新築にあたり、冷凍蓄冷剤の施設も新設しました。 ・新商品センター建設予定地に、宮崎市内店舗の受注惣菜を製造するオーナーオーダーセンター清武が完成し、12月に稼働開始しました。 ・コープみやざき・JA高千穂地区農協・五ヶ瀬町が共同出資している「ふれあいの里」が設立30周年を迎え、12月2日(木)に30周年記念式典を行いました。 ・「ノンちゃん&ベビー広場」が「高齢者向けのやわらかい食品」や「糖や塩分を控えた食品」などを品揃えした「やさしさてらす」に変わりました。 ・新型コロナウイルスになり自宅療養の方に宮崎県から依頼を受け、必要な食料品や雑貨品など提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北小路店(16号店)が10月にオープンしました。 ・共同購入注文用紙を20年ぶり変更しました。共同購入お約束便の登録が組合員さん自身でできるようになりました。 ・共同購入配達時に使うドライアイスの量を減らし、冷凍蓄冷剤を導入しました。 ・赤ちゃん戸配サービスの減額開始時期が選べるようになり、減額期間はいつ始めても56週間になりました。 ・「くらしの積立チャージ」カードをレジに設置し、レジでの入金をしやすくしました。 ・コロナ禍の中、組合員さん、お取り引き先の皆さん、コープみやざき職員全員の協力で、購買事業は、全体で増収増益となりました。 	主な事柄		
<p>2022年1月22日、震度5強を観測する地震が発生し高千穂町・延岡市で地割れなどの被害がありました</p> <p>インゼルスの大谷翔平選手が二刀流の歴史的活躍でMVPを初受賞しました</p> <p>ロシアが2022年2月24日、ウクライナに対する軍事侵攻を開始しました</p>	<p>宮崎市のJRR宮崎駅西口にアミュプラザがグランドオープンしました</p> <p>日本国内でも新型コロナウイルス感染者が急増し、緊急事態宣言による休業要請など、経済活動は様変わりする事態となりました</p> <p>レジ袋有料化がスタートしました</p> <p>延期されていた国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭が7月から実施されました</p> <p>台風14号の影響により宮崎市南海で9月16日、大規模な土砂崩れが発生しました</p>	社会情勢		
 <p>やさしさてらす</p>	 <p>ふれあいの里30周年</p>	 <p>本郷店</p>	 <p>くらしの積立 チャージカード</p>	 <p>北小路店</p>
 <p>震度5強地震</p>	 <p>小林店</p>	 <p>宮崎駅西口再開発</p>	 <p>県防防災庁舎</p>	

コープみやざき設立50年に こういう生協でありたい

・・・2023年 私たちがなっていてほしいと思う生協をめざして

2016年6月28日

第45回通常総代会

コープみやざきは43歳を迎えました。私たちは、くらしのねがいをかなえるために、助け合いをすすめ、意見や要望を出し、役職員と一緒にその実現に努めてきました。おかげさまで、事業の領域は少しずつ広がり、事業規模297億円、県民世帯の半数を超える組合員が参加する生協へと歩みをすすめることができました。

戦後70年を迎え、私たちのくらしを取り巻く状況は、政治的にも経済的にも大きな転機を感じさせるできごとが続き、人口の減少と少子高齢化は、コープみやざきにも少なからぬ変化をもたらすとともに、税制や社会保障の問題として私たちのこれからのくらしに大きな影を落としています。

私たちは、これまでのコープみやざきの発展に尽力されてきた多くの人々に感謝しながら43年の成果をうけつぎ、「50歳の節目となる2023年に、こういう生協でありたい」との思いを組合員と役職員で共有し、これからの8年間を歩んでいきたいと思えます。

1、コープみやざきが43年大切にしてきたこと

コープみやざきは、1973年、690人の消費者が集まり、自らが出資・利用・運営する生協としてスタートを切りました。1984年には、コープみやざきの活動の基本となる、私たちの声（意見や要望）をもとにした運営スタイルに変更し、事業の領域を、すべての県民の生活分野に役立つ事業に広げ活動を続けてきました。

1988年には、もっと便利な共同購入を目指して週2回配達に挑戦したものの大きな挫折を経験しました。この失敗から、私たちの声を中心に据えた事業運営が本格的に始まり、将来にわたって組合員に役立ち続ける生協であるためには、年度ごとの堅実経営と財務体質の強化が大切であることを再認識しました。

1996年以降、コープみやざきの基本的な考え方と実践から生まれた貴重な経験の積み重ねを毎年の基本方針書に整理、蓄積してきました。

傘寿のお祝いや赤ちゃん石鹸プレゼント、加入30年目の組合員さんへのお祝い企画など、ささやかではありますが、私たちの節目をみんなで祝うこともできるようになりました。

2、2023年 私たちがなっていてほしいと思う生協をめざして

(1) “協同する”ことで、あたたかな人と人とのつながりを深め、くらしの中の願いを実現していきます。

①核家族化がすすむ中で、経験の伝えあい学びあいも減少しています。携帯電話やインターネットの普及など通信手段が発達したものの、人と人のつながりが希薄となったといわれる時だからこそ、私たちは生協でのかかわりをおして、くらしや立場、年齢の違いを超えてつながりをつくり、食事や子育て、介護などのくらしの知恵の交流を行い、困りごとを解決していきます。この“協同する”ことをみんなでひろげていきます。

②コープみやざきの組合員の年齢構成は60代以上が43%となりました。宮崎県の一人・二人世帯は6割を超えています。私たちは、「一人暮らしになっても、ひとりぼっちにしない」ように、生

協でのつながりや事業を通して、みんなが安心して気持ちよくくらすことができるようにします。

- ③私たちの声を生かしてもらうことで、お店の買場や共同購入のカタログなど、一緒によりよいものにしていくことができます。私たちと、職員とが“協同する”ことで、さらに役立つ事業にしていけると思えます。
- ④私たちは、「おいしかったよ」「よかったよ」の声を感謝の気持ちで発信します。この声が、かかわったすべての人に伝わり喜びとして感じられれば、“協同する”ことがさらに深められると思えます。
- ⑤人に喜ばれることをすることは、自分も役立てたという喜びが生まれます。生協でのかかわりを通して、自分の“居場所”が感じられるようなつながりを大切にしていけます。

(2) 私たちが本当に欲しい商品やサービスへの開発・改善とくらしの工夫をすすめます。

- ①私たちが毎日使うものだからこそ、くらしの変化に合わせてより使いやすいように商品も変化させ続けたいと思えます。まだ実現できていないことにも、ねばりづよく声を出し続け、私たちのパートナーでもある取引先や様々な関係団体にも、スピーディーに情報をつないでもらい、協力をいただきながら商品の開発改善をすすめます。
- ②社会の変化だけではなく、子どもの成長など家族の変化でくらしは大きく変わります。私たちは、生活環境や生活様式の変化に合わせて、豊かにくらしにいけるように、くらしの工夫や改善をすすめます。

(3) 仲間をさそい、みらいにつながる安定した事業をすすめます。

- ①県内で生活する全ての人に生協に加入してもらい、一緒に事業を利用してもらいたいと思えます。くらし方は様々ですが、一生のどこかの場面で、何かしら役立つこともあると思えます。まだ、生協に加入していない人には声をかけ、意見や要望を出してもらいながら、今の事業をさらに利用しやすいものに改善します。
- ②福島原発事故を経験した日本人として、未来を展望し、環境や豊かな資源を次の世代につなげるように考え、新しい技術も取り入れて、必要な事業を開拓していきます。

(4) 社会や私たち自身の変化に対応し、みんなで成長しながら設立50年を迎えます。

- ①人と話し交流することは、新たな気づきもあり自分の成長につながります。「くらしの交流会」や「サークル活動」なども利用して、一人の人間として、社会人として成長していきたいと思えます。コープ委員会は、出会いの場であり、おしゃべりを通して交流し学ぶ場となっています。コープ委員会のない地区は新たに立ち上げます。
- ②生協を継続し発展させるために、生協で働く職員の確保と育成が必要です。助け合いの仕組みの「よろずサービス」を含め、私たちもくらしに合わせて働くことができるように、私たちの条件が許す範囲で“働く”という参加のあり方も研究してもらえればと思えます。働きやすい職場をつくり、働く職員には、「生協で働いて私の人生は楽しい」と感じてもらえるようになりたいと思えます。

私たちは、これからも設立の意思を引き継ぎ、「よりよいくらしと平和」を共通の理念に、民主的な運営に努めます。私たちの実践が「生協のようにやろうよ!」という声となって広がればよいと思えます。日本の社会のあり方に一石を投じるような、価値ある実践をみんなで積み重ねていきたいと思えます。

コープみやざき
49年のあゆみ

2022年5月吉日

発行 **生活協同組合 コープみやざき**

〒880-8530 宮崎市瀬頭2丁目10番26号
TEL(0985)32-1234 FAX(0985)32-3355



 **生活協同組合コープみやざき**

〒880-8530 宮崎市瀬頭2丁目10番26号
TEL (0985)32-1234 FAX (0985)32-3355